

N700系1000番台(N700A) 東海道・山陽新幹線

共通組み立て説明書

警告

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息などの危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ランナー上のパーツは、機能上、尖っていますので危険です。
- ランナー上のパーツは、機能上、縁部(エッジ)が鋭くなっていますので危険です。

注意

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取ります。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

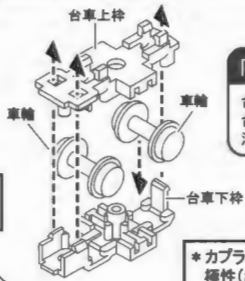
《電話受付先》 パンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**
●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 パンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

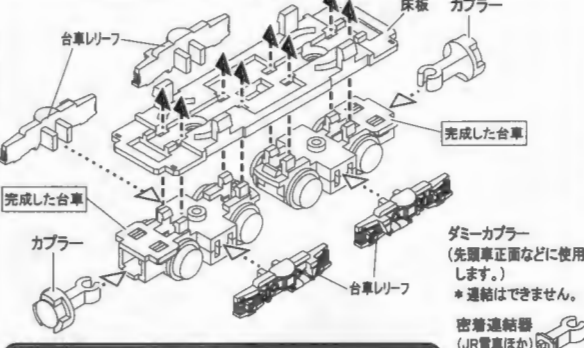


向きに注意!
台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>

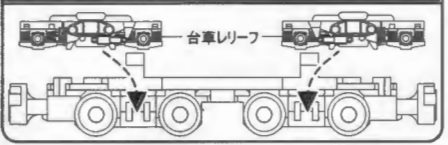
- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーと台車レリーフを取り付けます。

● カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。



- ダミーカブラー(先頭車正面などに使用します)。
● 連結はできません。
- 密着連結器(JR電車ほか)
- 自動連結器(客車・気動車ほか)
- ドローバー(2両を固定連結する場合に使用します。)

台車レリーフの向きに注意。



Nゲージ化用パーツの取り付け方法

※トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

※各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット①」**機関車用**を使用します。
通常色(黒)と、グレーがあります。
- 床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。
- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノーブローは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD63などでは、車体長が長いためカブラーの首振り量が十分にできません。量産運転や、狭小カーブ、Sカーブ上では、運転が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット②」**電車・気動車用**もしくは「**同 動力ユニット④**」**路面電車用**を使用します。
- 左右4箇所(黒)の爪で、車体と固定します。
- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。
- ※イラストは「動力ユニット②」**電車・気動車用**です。「動力ユニット④」**路面電車用**には前後のカブラーはありません。
- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- (追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「トレインショーティ専用・走行台車③」を使用します。
- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。
- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付けるときは、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカブラー取り付けのピンなしを使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- 先頭車とスカートとダミーカブラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカブラー部分を切り取ってください。

■ Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(1台含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)
 - 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
 - ※11-103は、購入時にはカブラーポケットの内面にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。
- ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません)
 - 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
 - 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
 - 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
 - 品番11-104 チビ客車用動力ユニット
 - ※「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを取り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を取り除く加工が必要な場合があります。)
- ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません)
 - 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
 - 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
 - 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

■ パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO:11-401 PS14:直造パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直造・下枠変形パンタグラフ
- KATO:11-404、11-420 PS16:直造パンタグラフ
- ※11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- ※11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社パンタグラフを取り付けることができます。

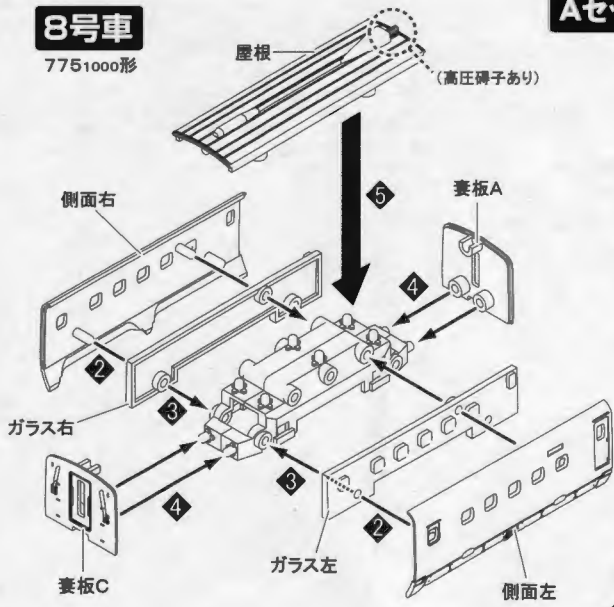
- 各社の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要な場合があります。
- 動力ユニットの接着には、車体によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

8号車

7751000形

Aセット

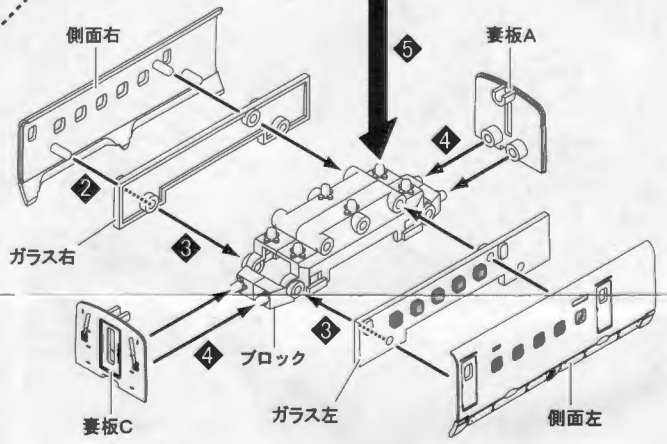
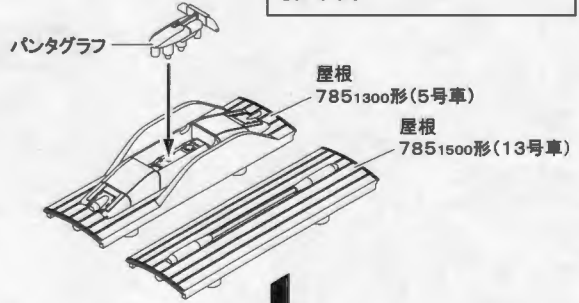
Bセット



5・13号車

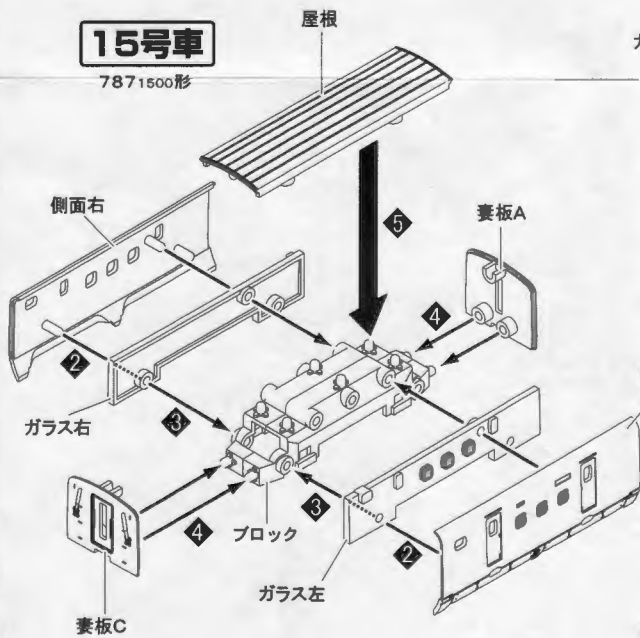
7851300形, 7851500形

7851500形(13号車)の屋根パーツは、7851000形(4号車)のものを、使います。



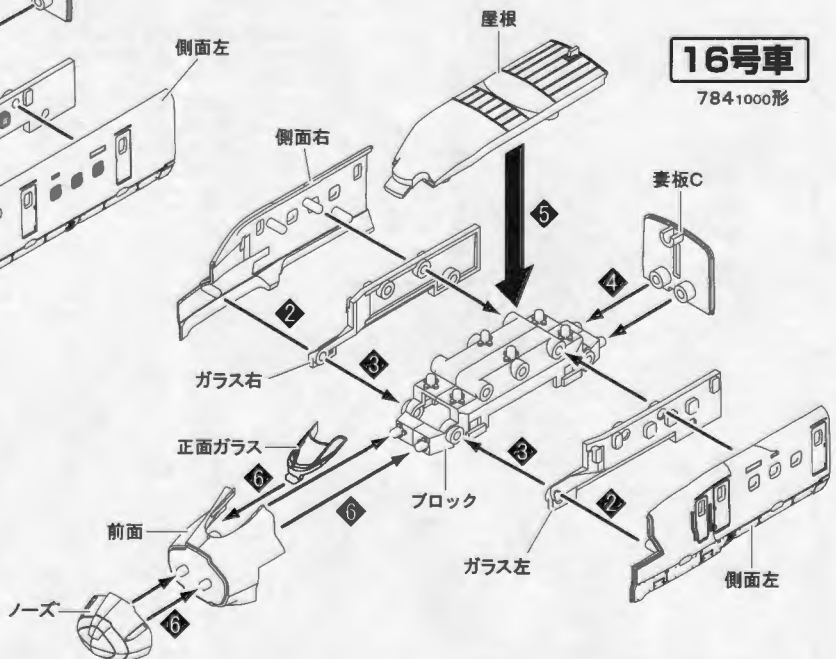
15号車

7871500形



16号車

7841000形

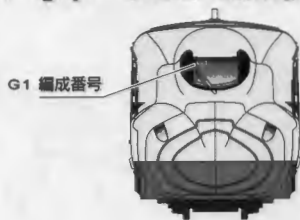


ステッカーの貼付け位置

* 貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

●種別表示について
自由席:1~3号車(のぞみ),1~5号車(ひかり),1~7,13~15号車(こだま)
指定席:4~7,11~16号車(のぞみ),6,7,11~16号車(ひかり),11~12,16号車(こだま)
グリーン車:8~10号車(全車共通)

1号車・783₁₀₀₀形



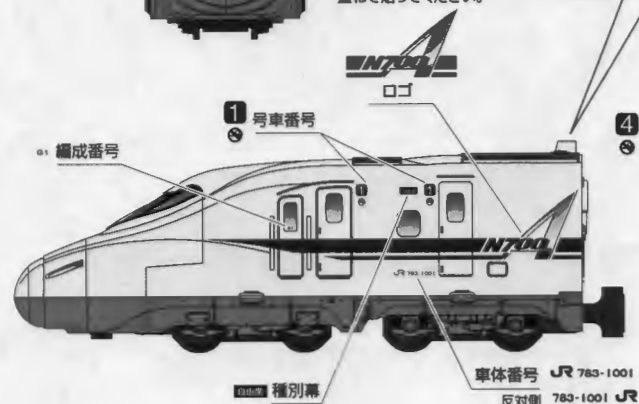
G1 編成番号

*N700Aのロゴは奇数号車の左右側面にあります。
*N700Aのロゴを貼る時には、側面の青帯の上にロゴの青帯を重ねて貼ってください。

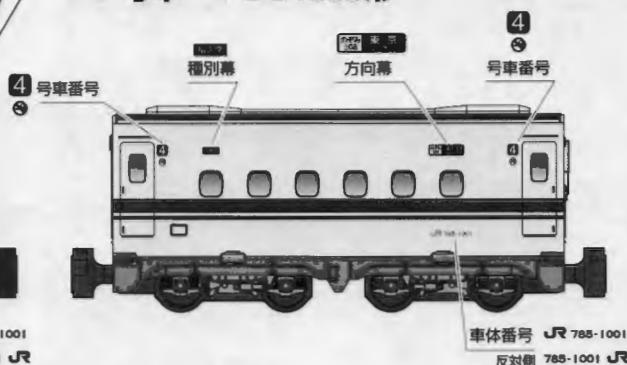


N700系0番台にする時

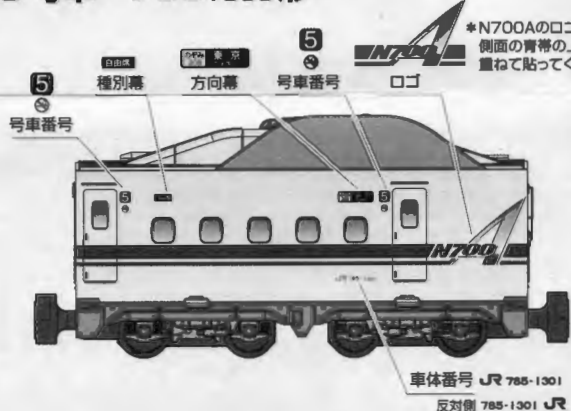
N700系ロゴ
*N700Aのロゴは1,3,7,11,13号車の左右側面にあります。



4号車・785₁₀₀₀形

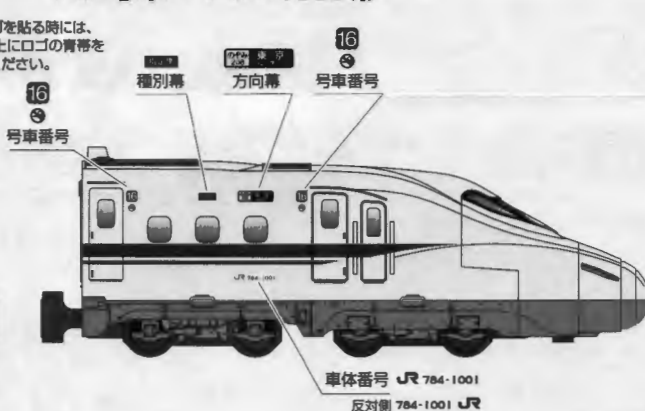


5号車・785₁₃₀₀形



*N700Aのロゴを貼る時には、側面の青帯の上にロゴの青帯を重ねて貼ってください。

16号車・784₁₀₀₀形



実車の編成例

* 時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。
本商品(新幹線N700A Aセット, Bセット)では、3,7,9,10,11,14号車は再現できません。

博多・新大阪←

→東京

1号車 Tc 783形	2号車 M ₂ 787形	3号車 M _w 788形	4号車 M ₁ 785形	5号車 M _{1w} 785形	6号車 M' 786形	7号車 M _w 787形	8号車 M'S 775形	9号車 M _w 776形	10号車 M'S 777形	11号車 M _w 778形	12号車 M ₁ 785形	13号車 M _{1w} 785形	14号車 M _w 786形	15号車 M _{2w} 787形	16号車 Tc 784形
-------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------	-------------------------------	--------------------	-------------------------------	---------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	--------------------

●0番台(Z1~80編成)

1	1	501	1	301	1	401	1	1	1	701	601	501	201	501	1
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
80	80	580	80	380	80	480	80	80	80	780	680	580	280	580	80

●1000番台(G1~6編成)

1001	1001	1501	1001	1301	1001	1401	1001	1001	1001	1701	1601	1501	1201	1501	1001
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
1006	1006	1506	1006	1306	1006	1406	1006	1006	1006	1706	1606	1506	1206	1506	1006

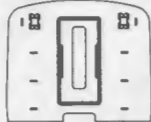
車体の組立て

- ①左右のブロックパーツを合わせます。
- ②左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ③組み立てた側面を、ブロックに取り付けます。
- ④妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ⑤屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両は、パンタグラフを取り付けます。)
- ⑥先頭車は、前面、正面ガラス、ノーズを取り付けます。
- ⑦シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

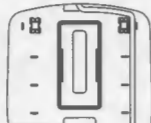
*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

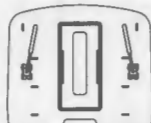
妻板について



妻板A
配管、ダンパー無し
3、6、11、14号車を
除く東京寄り



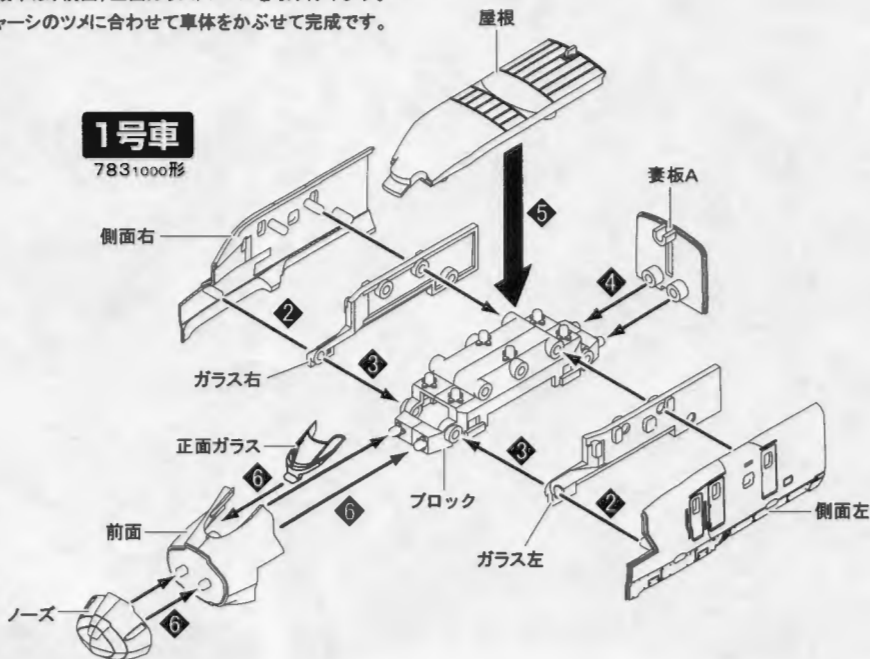
妻板B 配管付き
3、6、11、14号車の
東京寄り



妻板C
ダンパー付き
博多寄り全て

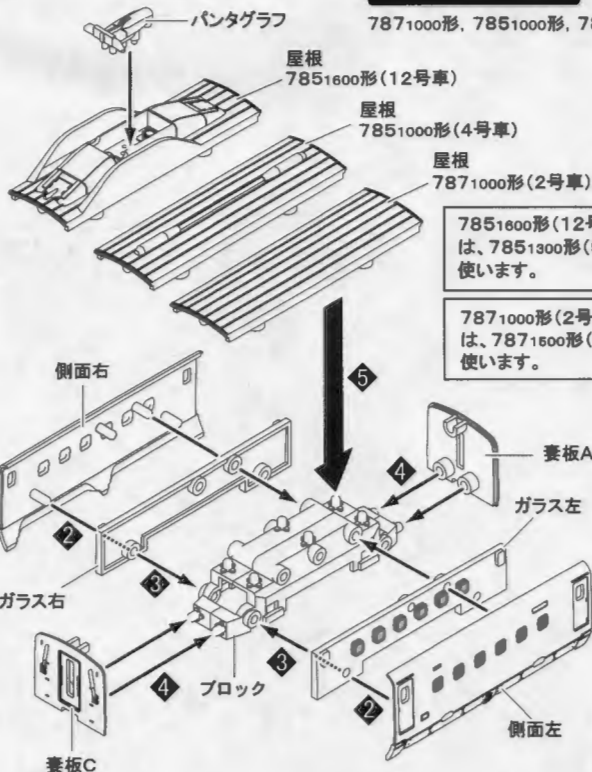
1号車

7831000形



2・4・12号車

7871000形, 7851000形, 7851600形



7851600形(12号車)の屋根パーツは、7851300形(5号車)のものを、使います。

7871000形(2号車)の屋根パーツは、7871600形(15号車)のものを、使います。

6号車

7861000形

